

## ■ 学歴

---

1. 2001年九州大学大学院人間環境学研究科博士課程単位取得満期修了退学

## ■ 学位

---

1. 1998年修士号取得（教育学・九州大学大学院）

## ■ 研究分野

---

1. 保育者養成教育
2. 保育学（環境）
3. 社会教育

## ■ 研究キーワード

---

1. 実習指導
2. 環境遊び
3. 地域における保育者の体験学習

## ■ 研究課題

---

1. 2年間の保育者養成における体験的な学びを通じた保育観・子ども観の育成－環境遊びを中心として
2. 保育者養成教育における実習での保育の記録のあり方
3. 現場保育者向けの生活体験プログラムの構築とフィールドワーク
4. 保育の質の向上を目指した保育者の研修について

## ■ 担当授業科目

---

1. 教育実習指導（通年・1～2年） 選択
2. 子ども学基礎演習（通年） 必修
3. 子ども学特別演習（通年） 必修
4. 保育原理（前期） 必修
5. 教育原理（前期） 必修
6. 子どもと環境（前期） 選択
7. 保育・教職実践演習（幼稚園）（後期） 選択
8. 保育内容「環境」の指導法（後期） 選択
9. 保育方法とメディア（後期） 選択
10. 教育実習Ⅰ（後期） 選択
11. 教育実習Ⅱ（前期） 選択
12. 教育実習Ⅲ（後期） 選択

## ■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<p>授業科目名【教育実習指導】</p> <p>「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」と段階的に行われる実習に対し、学生がそれぞれ課題意識を持ちながら臨めるような指導を行った。</p> <p>実習事後指導では一人一人の学生に対し面談を行い、また丁寧な日誌指導を行った。実習報告会是对面で実施し、学生自身が自分の学びを客観的に振り返って後輩にプレゼンテーションする場を設けたりと主体的な学びになる工夫を行った。特に「教材研究」として、一年次には手遊び、二年進級時にはペープサートなどの教材作成と実演、二年後期では現場で継続的に使用できる教材の作成と実演を行った。</p>
2.	<p>授業科目名【子ども学基礎演習】</p> <p>科目の担当当事者として全体計画を作成した。ゼミ毎での活動を軸として、学生が話しやすい雰囲気作りや学習成果を実感できる活動への取り組みなど様々な工夫を行った。「認定絵本土」養成指定講座は複数回実施したが、特に外部講師を招いた授業では、認定絵本土としての実践力を高められるよう工夫と努力を行った。</p> <p>個別に担当したゼミ活動では、学生の懇親を深めつつ保育への理解につながるような活動を工夫しながら行った。後期は科学遊びや時季に合わせた簡単な工作遊びなど、学生がやりたい活動を決めて主体的に実施できるよう支援的な役割で関わった。</p>
3.	<p>授業科目名【子ども学特別演習】</p> <p>2年次のゼミ活動の科目のため、体験的な学習をできるだけ行えるよう工夫した。学外授業は、今年度も動物園（到津の森公園）訪問を行い、加えて学生の要望から新しく開館した「スペースラボ」（青少年科学館）への訪問も行った。また、「科学遊び」のテーマではシャボン玉遊びや塩アート、クリスマスリース作りの際には、学内の自然環境を活用する作品作りなど学生が科学的な活動に関心を高められるような工夫を行った。</p>
4.	<p>授業科目名【保育原理】</p> <p>保育に関わる基礎的な概念や子ども理解のベースとなる授業内容のため、学生にとって出来るだけ分かりやすく、かつ基本的事項を確実に身につけられるような工夫として、テーマ別のノートプリントを作成し、それをもとに授業を進行した。スライドは事例や映像など学生が理解しやすいよう工夫を行い、学生の学習ペースに十分配慮しながら授業進行を行った。オンラインでの小テストを数回行ったことで、より理解を深めることができた。</p>
5.	<p>授業科目名【教育原理】</p> <p>保育をとりまく状況についてできるだけ新しい情報に基づいたものとなるよう、また就職後の自分にどのような影響があるか等、授業内での解説は学生が「教育」に対し日常的に興味関心を深められるように工夫した。制度や概念の理解など学生にとって理解が難しい内容は、身近な話題と関連させて説明したり、映像を用いたりした。学生の学習ペースが保てるようノートプリント形式のプリントを配布し、要点をまとめやすくした。オンラインでの小テストを数回行ったことで、より理解を深めることができた。</p>
6.	<p>授業科目名【子どもと環境】</p> <p>「幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領」における5領域の「環境」につ</p>

	いて、そのねらいや内容、取り扱いについて、一つ一つ解説し、授業を進めた。入学して間もない学生が受講対象となるため、「幼稚園教育要領」等の文書や5領域の意義などから丁寧に説明を行い、毎回復習プリントで学習内容を確認し、理解の定着を図った。加えて、保育における遊びの意義や遊び環境との関係、遊びを引き出す玩具や教材、環境設定と保育のねらいとの関連など、概説的に取り扱った。できるだけわかりやすく説明することを心がけたため、学生の最終成績は非常に良好であった。
7.	<p>授業科目名【保育・教職実践演習（幼稚園）】</p> <p>現場での保育実践を見越したアクティブ・ラーニングの授業を行った。学生の主体的な学びとなる「模擬保育」では、学生を4グループに分け、保育者役（指導案作成と模擬保育）を1回ずつ、他の学生が保育者役を行う際には子ども役・観察者役と役割を割り振り、各模擬保育の実践後には意見交換を行う内容で、学生個々人の学びと実習経験が生きる授業となった。「実践に学ぶ」では、保育の実践記録を読み合い意見交換を行った。卒業後1年目の卒業生を招いた授業では、現場での実践を想定しながら学生が話を聞いていた。いずれも、学生が授業への参加意識が高まるような工夫を行っている。</p>
8.	<p>授業科目名【保育内容「環境」の指導法】</p> <p>前期科目「子どもと環境」と内容を関連させ、演習や実技的な内容を中心に授業内容を構成した。授業前半では、屋外での体験学習を中心に授業を組み立てた。特に、自然や生活環境への関心が高まるよう工夫した。保育活動で利用する様々な教材と思考力の発達について、映像教材や実物を用いたりしながら授業を進めた。</p> <p>授業後半は、学生による「模擬保育」を行った。グループ毎に企画書を作成し、与えられたテーマに基づいた活動を行った。実技を行い振り返りを行うことで、学生の理解が深まっただけでなく、活動の楽しさを実感できたようである。</p>
9.	<p>授業科目名【保育方法とメディア】</p> <p>昨年度までは「保育メディア演習」の名称で開講していた科目を引き継いだ。他1名の担当者と分担し、主担当として15回中10回の授業を行った。授業の前半では、メディア環境をテーマにディベート形式での授業を行い、自身のメディア接触を元に、保育や子育て環境におけるメディアとの付き合い方について実体験から振り返る機会とした。また、生成AIや保育現場でのIT化についての差ダイヤ、もう一人の担当者の授業においてはPC操作の技術的な演習にChatGPTを導入する等保育や教育現場の情報化に即した授業内容を組み込んだ。</p> <p>また、多様な保育方法について説明する際には、映像資料等を用いて理解を深めるよう工夫した。</p>

## ■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2013年5月	日本保育学会	
2.	2017年3月（発足より）	日本保育者養成教育学会	
3.	1998年10月（発足より）	日本生活体験学習学会	理事（2004-2010年、2018年-現在） 紀要編集部会担当理事（2021年10月-現在） 紀要編集部会部会長（2023年10月-現在）

4.	1996年4月	日本社会教育学会	
5.	1996年4月	九州教育学会	事務局幹事（1996-98年）

## ■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
<b>（著書）</b>					
1.	2023年10月	論集 子ども の生活体 験を拓く－ 飯塚市庄内 生活体験学 校開設の素 地と開設後 の伸展－	共著	特定非営利活動 法人体験教育研 究会ドングリ	飯塚市庄内生活体験学校の30年の歩みについて、これまで執筆された論文や研究報告などを取りまとめ、さらに近年の活動に関する資料を加えて論集にしたものである。
2.					
3.					
<b>（学術論文）</b>					
1.					
2.					
3.					
<b>（翻訳）</b>					
1.					
2.					
3.					
<b>（学会発表）</b>					
1.	2023年5月	保育者養成 における自 習日誌に関 する考察Ⅲ －保育現場 での日誌を 通した指導 の視点－	共著	日本保育学会 第76回大会(ポ スター発表)	保育実習等で経験の振り返り学習に用いられる実習日誌について、学生の学びがより深められる日誌様式や指導のあり方についての研究の第3報となる。保育現場で実習指導担当者へのヒアリング調査を行い、多くの実習担当者が日誌の時系列表記を必要と考えていることに加え、子どもや環境構成への気づきを持って欲しいこと、双方向的なやり取りが重要であることが明らかとなった。 古林ゆり・阿南寿美子・脇信明・古林ゆり・島田知和・大谷朝・二子石諒太・金

					子幸・上原真幸・ <u>末嵯雅美</u> ・藤本朋美
2.					
3.					

## ■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.	保育実習における現場指導担当者の実習日誌指導に関する質問紙調査	全国保育士養成協議会九州ブロック協議会	○末嵯雅美 阿南寿美子 (上原真幸、大谷朝、島田知和、藤本朋美、二子石諒太、古林ゆり、脇信明)	300,000
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

## ■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2006年4月～現在に至る	柳川市保育協会保育士会研修部会	研修会助言講師
2.	2016年9月～現在に至る	福岡県八女市子ども子育て会議委員会	会長
3.	2018年8月～現在に至る	福岡県保育士等キャリアアップ研修	幼児教育分野担当講師
4.	2018年8月～現在に至る	九州保育団体合同研究会	4・5歳児保育分科会運営委員
5.	2019年6月～現在に至る	福岡県八女市子育て支援員講座	講師（3講座担当）
6.	2020年9月～現在に至る	特定非営利活動法人体験教育研究会ドングリ（NPOドングリ）	研究部会、研究・実践担当 「保育者体験講座」の実施

7.	2023年5月	日本保育学会第76回研究大会	ポスター発表 PA8 会場・座長
8.	2023年5月	日本保育学会第76回研究大会	研究奨励賞推薦委員
9.	2023年7月	福岡県みやま市保育協会	研修部会研修担当講師
10.	2023年7月	福岡県八女市公立保育支部会	リスクマネジメント研修担当講師
11.	2023年10月	日本生活体験学習学会第23回研究大会	自由研究発表分科会・司会者
12.	2023年12月	みやま市上庄ひいらぎこども園	研修会講師
13.	2023年12月～現在に至る	みやま市上庄ひいらぎこども園	保育活動アドバイザー
14.	2024年2月～現在に至る	北九州市子ども・子育て会議	専門委員(認定こども園・確認部会員)
15.	2023年9月～2024年3月	西南女学院教職員組合	副執行委員長

## ■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2020年4月～現在に至る	保育科	学科長
2.	2020年4月～現在に至る	人事委員会	委員・副委員長として出席 人事選考委員会の開催
3.	2020年4月～現在に至る	入試会議	保育科学科長として出席・不定期
4.	2020年4月～現在に至る	運営会議	保育科学科長として出席・毎月
5.	2020年4月～現在に至る	点検評価改善会議	保育科学科長として出席・不定期
6.	2020年4月～現在に至る	保育科学科会議	保育科学科長として進行・毎月
7.	2023年1月～現在に至る	教学マネジメント会議	保育科学科長として出席・不定期
8.	2022年4月～現在に至る	西南女学院将来計画委員会	委員として出席・不定期
9.	2018年4月～現在に至る	西南女学院大学短期大学部附属 シオン山幼稚園幼稚園運営委員	委員・保育科学科長として出席・ 不定期
10.	2020年4月～現在に至る	非常勤候補者選考会議	委員・保育科学科長として出席・ 不定期
11.	2020年4月～現在に至る	学生総合支援室運営連絡協議会	委員・保育科学科長として出席・ 不定期
12.	2017年4月～現在に至る	学生アドバイザー	保育科1・2年生のアドバイザー として学生支援を行う
13.	2022年4月～現在に至る	学生募集活動・保育科の広報	インスタグラムの更新
14.	2023年4月	全国保育士養成協議会九州プロ ック協議会	学科長として総会(Web)へ出席

15.	2023年5月	西南女学院高校との高大連携講座	「保育科について」 学科長として5年生へ講義
16.	2023年5月	保育科1年生、附属幼稚園見学実習	実習担当者として実習の引率指導
17.	2023年6月	保育科保護者懇談会	学科長挨拶・保護者面談
18.	2023年6月	入学者選抜説明会	短期大学部保育科の紹介
19.	2023年6月	保育科2年生「教育実習Ⅱ」訪問指導	幼稚園へ来訪し現地指導
20.	2023年5-6月	高校訪問	担当高校(北九州・筑豊地区)の訪問
21.	2023年7月	若松高校進路ガイダンス	幼稚園教諭の仕事について説明
22.	2023年7月	直方高校大学見学会	保育科の紹介
23.	2023年7月	保育科同窓会「要の会」役員会	役員会議への出席
24.	2023年8-9月	保育科2年生「保育所実習Ⅱ」「施設実習Ⅰ」「施設実習Ⅱ」訪問指導	保育所、児童福祉施設へ来訪し 現地指導
25.	2023年6-8月	オープンキャンパス、各回	保育科・学科の説明
26.	2023年9-10月	大学短期大学部認証評価業務	質問回答・実地調査への対応
27.	2023年9-10月	保育科2年生「教育実習Ⅲ」訪問指導	幼稚園へ来訪し現地指導
28.	2023年10月	折尾愛真高校進路ガイダンス	保育・幼児教育分野の講義
29.	2023年10月	入学者選抜・特待生入試	入試業務(面接など)
30.	2023年10月	保育科1年生「教育実習Ⅰ」訪問指導	幼稚園へ来訪し現地指導
31.	2023年11月	北九州市保育研修大会	学科長として式典出席
32.	2023年11月	保育科同窓会「要の会」同窓会	学科教員として式典出席
33.	2023年11-12月	入学者選抜・推薦入試	入試業務(面接など)
34.	2023年12月	北九州市私立幼稚園連盟主催、養成校との意見交換会	実習担当者・学科長として出席
35.	2024年1月	北九州市私立幼稚園連盟主催、新年会	学科長として式典出席
36.	2024年1月	西南女学院大学短期大学附属シオン山幼稚園	園だより1月号巻頭言執筆
37.	2024年1-2月	入学者選抜・一般/社会人入試	入試業務(面接など)
38.	2024年12-3月	入学者選抜・総合型選抜	入試業務(面談など)
39.	2024年2月	保育科1年生「保育所実習Ⅰ」訪問指導	保育所へ来訪し現地指導
40.	2024年2月	保育科教育実習、実習園打ち合わせ(教育実習Ⅰ実習園)	実習担当者として出席

41.	2024年3月	嘉穂総合高校大山分校進路ガイダンス	保育分野の講義
42.	2024年3月	保育科学生募集停止についての関係団体への説明	学科長として主に北九州市内の保育・幼児教育関係団体の代表者へ説明訪問